



# あさまる通信

第20号 3月

発行：習志野販売株式会社  
〒275-0016  
千葉県習志野市津田沼5-11-10 吉田ビル3F  
TEL 047-454-2355 FAX 047-454-2357  
URL <http://www.asamaru.com/>  
e-mail [info@asamaru.com](mailto:info@asamaru.com)

## 隅におけない炭のはなし

2月8日(土)「隅におけない炭のはなし」という講演会が、谷津公民館集会室で行われました。これは生涯学習の一環として谷津公民館が主催となり、地区学習圏会議(ローズフォーラム)の共催で行われたものです。講師として千葉大学工学部教授の立本英機先生が教壇に立たれました。集会室には席が足りなくなる程の大勢の方が集まり、皆手にしたテキストを講演が始まる前から、熱心に読んでいました。

日本では化学物質による人体・環境への影響が問題になっています。化学物質はどんなに少量だとしても食物連鎖などで濃縮され、さまざまな害を及ぼします。炭はその性質である「吸着」(炭に空いているパイプ状の孔に、分子を引き付ける事)によって、化学物質が濃縮される前の微量な時に取り除き、人体などに影響を及ぼさないようにしています。吸着後の炭を取り出すことで、水などに含まれていた化学物質の濃度が低くなるという訳です。

また木炭は「白炭」と「黒炭」の2種類あるそうです。まず「白炭」は堅い木を高温で焼きます。強い火力が維持でき孔も細かく表面がアルカリ性です。備長炭、竹炭などは白炭の中に分類されます。「黒炭」は低温で軟らかい木を蒸し焼きし、火つきが早くよく燃えます。孔も大きく表面



は酸性です。孔の大きさによって吸着できる量や物質が違ってきます。ここでは身近な「匂い」を例にとって説明されていました。「匂い」のような小さな分子の吸着の速度は木炭で7日間かかり、また永久には吸着出来ないということでした。その代わりに木炭は煮沸することによって、吸着力が甦り再利用出来ます。トイレなどのアンモニア臭はアルカリ性なので、「黒炭」の酸性と引き合い中性になることで消臭できるそうです。匂いの種類によって「白炭」「黒炭」を使い分けることが必要です。冷蔵庫などは色々な性質の匂いがあるので、炭を混合して使用するのが良いということでした。また炭には吸水性があり床下調湿資源として活用したり、水の浄化に貢献したりしています。炭を燃やした後の灰にも山菜や野菜のアク抜きなどの効果があります。

講演はかなり専門的な内容でしたが、立本先生の噛み砕いていてしかもユーモアのある話し方で解りやすい内容となりました。炭にはここでは伝えきれない程の役割があり、炭の重要性をこの講義で再認識しました。

「節分」の始めには境内社で神主が、今年の年男と宮代人にお被いをしました。年男は紙で作られた袴で礼装しており、厳肅な雰囲気を感じられました。次に菊田囃子連による「神楽の奉納」です。この神楽は4つの構成で成り立っており、神主による「神子の舞」、大黒様による「大黒の舞」、獅子と馬鹿面による「獅子の舞」、最後に舞の締めくくりとなる「鬼退治の舞」で



「ならし」という地名の由来は、明治以前大きな放牧場の一部となっていたこの地域が明治4年に牧場を廃止し、軍の演習地となり

「プレゼントは、裏面にあります!!」

【菊田神社 節分祭】  
2月3日(月)に菊田神社(津田沼3丁目)で節分祭(追儺式)が行われました。平日にもかかわらず、たくさんの方々が集まり境内を埋めつくしました。  
「節分」という言葉は、本来は立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれの前日です。1年に4回ありましたが、いつの頃から立春の前日のことだけを言うようになったようになりました。もとは中国の「追儺」という鬼を払う習慣を参考にし、陰陽師たちによってやり方が整えられ平安時代の頃には日本での「追儺」の習慣が生まれ、現在の「豆まき」へと変化していったようです。

【習志野市の始まり】  
明治以前、習志野市周辺はまだ「村」という単位でしかありませんでした。江戸幕府が開かれてから谷津村、久々田村、鷺沼村、藤崎村、大久保新田、実羽村など天領(徳川将軍の領地)として、代官の管理するところとなりました。市内の村々は明治2年に葛飾県の直轄となり、明治3年鷺沼、藤崎、大久保新田、実羽は佐倉藩領に属しました。さらに明治4年廃藩置県(地方行政上の単位であった「藩」をやめて「県」に統一した改革)により千葉郡そのほか下総国の9郡を管轄する印旛県が制定されました。それにより佐倉県(旧佐倉藩領)と葛飾県が統合されて現在の習志野市域すべて印旛県に入りしました。その後、明治6年に印旛県と木更津県が合併して、千葉県が誕生しました。

「ならし」という地名の由来は、明治以前大きな放牧場の一部となっていたこの地域が明治4年に牧場を廃止し、軍の演習地となり

ました。明治6年明治天皇が近衛兵の演習をご覧になり、演習ですばらしい指揮をとった陸軍少将篠原国幹の働きを褒め、「みならしのはら(見習え篠原)」と「兵を馴らす」から「ならしのが原」と命名され、それ以後周辺地域を「習志野」と呼ぶようになりました。



**あさまる info**

<p>◆第10回生涯学習フェスティバル</p> <p>場所 新習志野公民館</p> <p>日時 3月8日(土)午前10時~</p> <p>内容 バザー、お囃子・祭り太鼓、ソーラン節、ばか面踊り、オカリナ等器楽演奏、餅つき、再生品抽選会、ゲームラリー、ペンシルバルーン製作、模擬店、写真展</p> <p>日時 3月9日(日)午前10時~</p> <p>内容 子ども映画会(午前10時~11時30分) 立川かずさコンサート(午後2時~) 写真展</p>	<p>◆あんばさま</p> <p>場所 菊田神社</p> <p>日時 3月16日(日)午後1時~</p> <p>由来 明治の初め頃、「天然痘」が大流行した時、疫病の治癒神として祭られている茨城県桜川阿波村の大杉神社の分社を菊田神社の境内に建てました。子供たちが神を持って「あんばおせ大明神、悪魔を払ってよーいやせ」とはやしてまわったところ、天然痘が治まったのが始まりと伝えられています。今では子供達の健やかな健康を願い、地区の発展を願うお祭りとして行なわれています。当日、子供達に御神輿や山車を引いてもらい津田沼地区を歩きます。参加した子供達にお菓子の土産があります。</p> <p>◆菊田音楽祭</p> <p>場所 菊田公民館3F講堂 入場無料</p> <p>日時 3月16日(日)開演午後12時30分~</p> <p>問い合わせ先 菊田公民館 電話 452-7711</p> <p>出演者 クラリネット/荒井伸一(東京フィル) バイオリン/齋藤園子 習志野女声(菊田公民館サークル)他</p>
--	--